

2023年6月30日

各位

会社名 大村紙業株式会社
代表者名 代表取締役社長 牧山 光人
(コード：3953 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役管理本部長 八巻 和彦
(TEL. 0467-52-1032)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月14日にスタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2023年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成いたしましたので、お知らせいたします

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月末時点におけるスタンダード市場の上場基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっております。【流通株式比率】については2023年3月に基準を充たしましたが、【流通株式時価総額】については基準を充たしておりません。当社は、下表のとおり【流通株式時価総額】に関しては2025年3月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月末時点 (移行基準日)※	1,251人	10,716単位	6.5億円	21.9%
	2023年3月末時点 (基準日)※	1,082人	9,258単位	4.9億円	25.9%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%
2023年3月末時点の適合状況		適合	適合	不適合	適合
当初の計画に記載した計画期間		—	—	2025年3月末	2023年3月末

※東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

2. 上場基準の適合に向けた取組の実施状況および評価 (2021年12月計画提出時～2023年3月)

当社は、2021年12月14日に公表した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」において、上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題および取組内容を定めており、【流通株式時価総額】は【流通株式比率】と【時価総額】によって構成されております。

【流通株式比率】については、2021年6月末時点(移行基準日)において上場維持基準に満たしていませんでしたが、2022年3月15日に公表した「自己株式の公開買付けの結果及び取得終了並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」及び2022年8月9日に公表した「自己株式の消却に関するお知らせ」や非流通株主となっている既存株主様に対して当社株式売却の働きかけにより2023年3月末時点(基準)において上場維持基準を充たす事となったことから、【時価総額】の向上が必要であると認識しております。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

【流通株式時価総額】について

(1) 今後の課題

当社は、非流通株主様との話し合いとともに、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けた施策の取組を通じ、当社の株価上昇による魅力を高め、より多くの投資家の皆様に当社株式への投資を検討して頂くことによって、上場維持基準の適合を目指すことを基本方針としております。

【流通株式時価総額】が基準に達していないのは、「株価」の水準が要因であり安定した業績が株

価に反映されていないことが本課題の背景と認識しております。売上向上及び収益の確保をはじめとする利益水準の向上を図るとともに株主還元強化策について検討してまいります。

【流通株式比率】は上場維持基準に達しておりますが、今後も引き続き、非流通株主となっている既存株主様に対して当社株式売却の働きかけを行い、流通株式比率の向上を図ってまいります。なお、個別に交渉を行っていく予定の中で、ご協力いただける株主様には個人株主増加させるために、株式の引出協力をお願いする予定です。

(2) 取組内容

- ① 当社は段ボールシート、段ボールケース、ラベルの製造販売等を行っていますが、当社の経営戦略として、小ロット・多品種生産・短納期を武器に個性化・多様化しているユーザーのニーズに対応するため、生産拠点を東北から関西に13箇所に設け、「地域密着型の工場展開による迅速なサービス」の強化を徹底するとともに原価の徹底見直し、TV会議も活用しながら従業員教育の強化を推進することにより受注量の増加、ひいては売上高の増加及び利益の確保をさらに図ってまいります。
- ② 流通株式比率は上場維持基準に達しておりますが、今後も引き続き、非流通株主となっている既存株主様に対して当社株式売却の働きかけを行い、流通株式比率の向上を図ってまいります。なお、個別に交渉を行っていく予定の中で、ご協力いただける株主様には個人株主増加させるために、株式の引出協力をお願いする予定です。
- ③ 安定的な配当を基本方針としながら、更なる株主還元策について必要に応じた追加または強化策の実施を検討してまいります。
- ④ IR活動の推進・強化・投資家向けの情報発信の充実を図ります。当社ウェブサイトにおける適時開示、新製品（段ボールパーテーションや段ボールみこし）、抗菌製品および決算情報をタイムリーに掲載しております。今後も継続的に記載内容の見直しや決算説明資料の拡充等を行ってまいります。

※※ 参考資料 ※※

2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	3,020	14.4	172	3.0	174	3.6	121	10.0	34.24
通期	6,221	14.7	301	12.2	300	10.8	210	701.1	59.14

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

以 上